

平成24年2月定例会付議予定議案



招 集 日

平成24年2月20日

議 案

58件

〔 予算(19)、条例(27)、事件議決(5)、
基本的な計画の策定(7) 〕

【主な内容】

- 管理職手当を減額するための職員給与条例の一部改正
- 埼玉県医師育成奨学金貸与条例
- 埼玉県水源地域保全条例

など

平成24年度 当初予算



一般会計 1兆6,777億2,200万円

《前年度比 0.7%減》

(全会計合計 2兆3,974億8,702万円)

《前年度比 2.6%増》

「安心・成長・自立自尊の埼玉」へ向けて



安心

成長

自立自尊

三大プロジェクト

埼玉エコタウン

エネルギー

埼玉版
ウーマノミクス

女性

健康長寿埼玉

健康づくり

主な重点施策

大規模災害への
備え

世界水準の
中小企業育成

日本一の
共助県づくり



大規模災害への備え

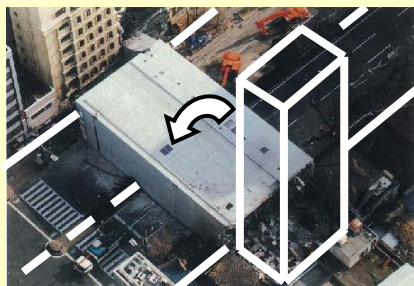
一部
新規

◆ 緊急輸送道路の機能確保対策の推進

新

閉塞建築物の耐震化

1億2,000万円



閉塞建築物の耐震性の早期把握

阪神・淡路大震災(神戸市中央区)

① 県所管分(26棟)への支援
診断への助成

→平成26年度までに全ての耐震性を把握

設計・工事への助成

→耐震化を早期実現

② 10市所管分(69棟)への支援

診断への助成

→平成27年度までに全ての耐震性を把握

新

公共下水道マンホールの耐震化

2,500万円



液状化による公共下水道マンホールの浮上防止

東日本大震災(千葉県浦安市)

① 市町村への財政支援
浮上防止対策への助成

→200基(4年で1,600基)

対象: 県管理の緊急輸送道路がある14市町

② 市町村への技術支援

浮上防止対策簡易診断ソフトの作成・提供

橋りょうの耐震補強

12億100万円

● 橋脚を太くし、地震による損傷を防ぐ対策などを実施



対策前



対策後

■ 平成27年度までに、

対策が必要な橋梁132橋の耐震化を完了

H24完了 震災前98橋⇒101橋

前倒し



大規模災害への備え

新規 ◆ 災害時における帰宅困難者対策の推進

駅前滞留者への対応

1,500万円

帰宅困難者対策協議会設置

- 県内主要駅(5駅)における駅前滞留者への対応を検討する**協議会**を設置

- ・ 駅周辺での行動ルールの作成
- ・ 駅前混乱防止対策訓練の実施

帰宅困難者推計調査

- 携帯電話の位置情報・登録情報を分析し、特定エリア内の帰宅困難者数を推計

帰宅困難対策を検討する際の基礎データとして活用

サポートロードの整備

9,700万円

■ 徒歩帰宅者の支援

- 停電に備え、**ソーラー式LED照明設備**を整備

『停電時でも安全な歩行空間を確保』



- 主要地点までの距離や現在地を表示した**距離標**を整備

『目的地への距離がわかり、安心できる』



安全・安心な帰宅をサポート



子育ての安心

一部
新規

◆ 待機児童対策の 更なる推進

53億円

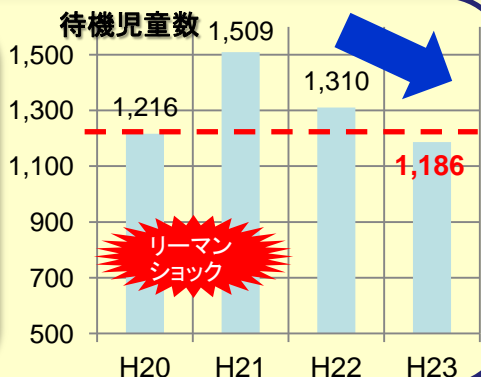
保育サービスの受入枠を拡大

■ 認可保育所の整備 **ほか**

■ 企業内保育所の共同設置

- 複数事業所による共同設置に対する整備費、運営費の補助
- 県庁と企業による共同利用型保育所の設置

平成24年度
受入枠目標
4,000人



一部
新規

◆ 発達障害児(者) への支援

1億8,100万円

～発達障害の早期発見・早期支援を促進～

■ 啓発の推進 **新** 成人期向け：冊子作成配布 セミナー開催

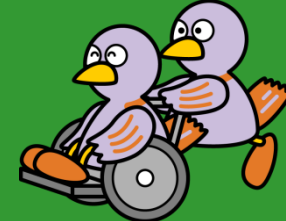
■ 人材の育成 **一部
新規** 市町村や保育所、療育専門職の育成

■ 親支援 伝統的な子育てを学ぶ講座の開催
保育所等への巡回支援 親への相談・助言

■ 診療・療育の拠点づくり

- 新** ① 中核発達支援センターを新たに1か所整備 (2か所→3か所)
- ② 障害児通所施設を活用し、個別療育を実施(4か所)

発達障害の認識が高まり、
需要が拡大する診療・療育の受入れを拡充



健康・介護の安心

新規 ◆ 24時間介護・看護サービスの普及促進

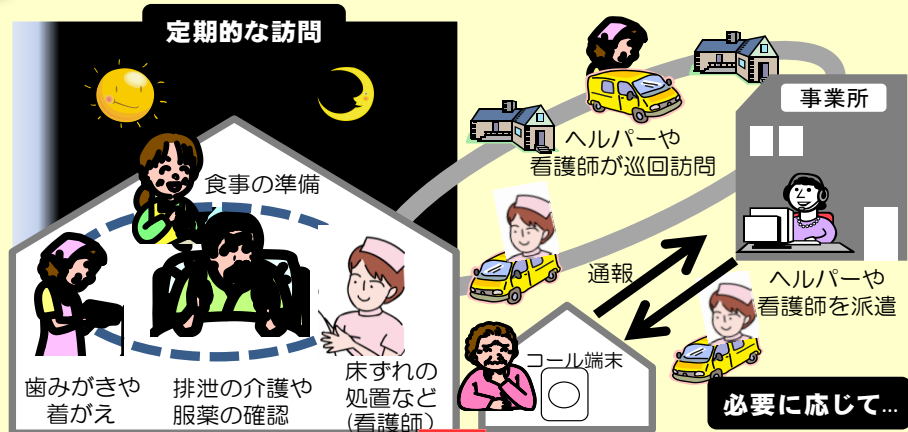
5,200万円

継続 ◆ 特別養護老人ホーム等の整備促進

38億3,800万円

利用者の生活リズムに合わせて1日何度も訪問

サービスのイメージ

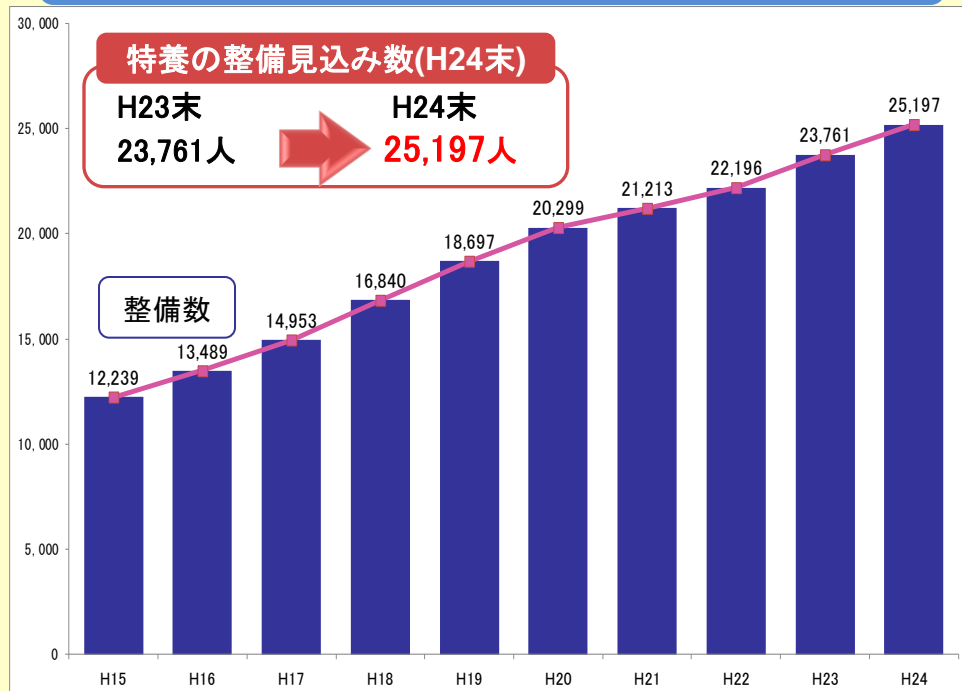


まずは**3か所**でサービスを開始

効果・課題を検証して**全市町村**へ

平成28年度
まで

平成24年度完成施設 **19施設 1,436人分**





医療の安心

新規 ◆ さいたま新都心への医療拠点の整備

一般会計 22億3,500万円
病院事業会計 100億8,400万円

さいたま新都心に一体的整備

県立小児医療センター

さいたま赤十字病院

相互に連携

機能の強化

高度な周産期医療と救命救急医療を提供

■ 事業内容

- 平成24年度 都市再生機構から土地を取得

〔小児医療センター建設用地分 約10,000㎡〕
〔さいたま赤十字病院建設用地分 約 2,300㎡〕

- 平成24~25年度 小児医療センター基本・実施設計

■ 整備目標年次 **平成27年度**

一部新規 ◆ 医師確保対策の推進

2億3,200万円

医学生・研修医の誘導定着

新 県外医学生奨学金貸与

新規 **15名**

対象者: 県内出身者、県内高校出身者

- 既存事業
- 地域枠医学生奨学金貸与 新規10名
 - 臨床研修医研修資金貸与 新規20名
 - 後期研修医研修資金貸与 新規20名

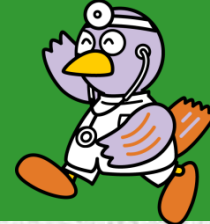
医師の地域偏在
診療科偏在の解消

新 医学部調査・検討

医療ニーズの
現状分析

医療ニーズの
将来推計

医学部設置
の可能性の
検討



医療の安心

拡充 ◆ ドクターヘリ 24時間体制の再構築

3億2,800万円

拡充 ◆ 朝まで小児救急電話 相談 #8000の実施

4,700万円

日中 ドクターヘリ専用機運航

早朝・夜間 防災ヘリのドクターヘリ的運航

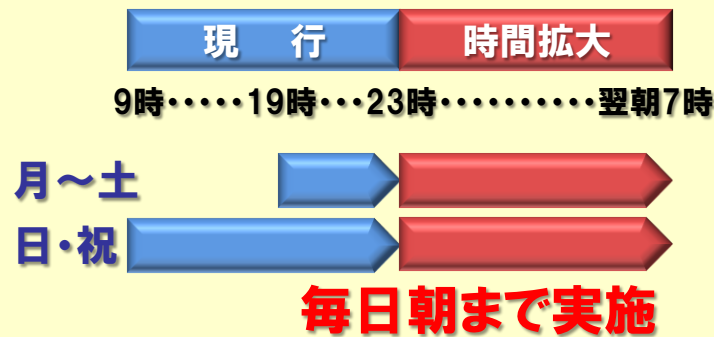
24時間
体制の確保



相談時間を翌朝まで拡大

午後11時まで ▶ 翌朝 **7時**まで
子どもの急な病気・けが（発熱、下痢、嘔吐、けいれん等）の相談

小児救急電話相談 #8000



保護者の不安解消



雇用の安心

新規 ◆ キャリアセンター ブランチの展開 2,900万円

■ 地域における就業支援の強化

現 状

◎ さいたま新都心

ヤングキャリア
センター

女性キャリア
センター

○ 県内7市での巡回相談(週1日)

強化

H24~

キャリアセンターブランチ

「若者」+「女性」の就業を支援

《所沢市(週5日)・草加市(週3日)》

※ 県内5市での巡回相談も引き続き実施

一部新規 ◆ 障害者雇用対策の強化 1億1,000万円

■ 障害者雇用企業の支援

障害者雇用サポートセンター

企業へのアドバイス・雇用のコーディネート

■ 障害者の就業機会の拡大

・ 障害者雇用開拓員による県内企業の開拓

新・ 知的障害者対象職業訓練の開講

新・ 障害者雇用企業誘致専門員の配置



- ・ 特例子会社の誘致
- ・ 障害者雇用に積極的な県外企業の誘致



時代に応え未来を拓く人材育成

一部
新規

◆ グローバル人材の育成

5億6,100万円

世界で鍛える(若者のチャレンジ支援)

- ・「埼玉発世界行き」奨学金支給(270人)
- ・中小企業若手社員海外研修支援(20社)

世界に目を向けさせる (動機付け・意識啓発)

- ・大学生のインターンシップ支援(20人)
- ・青少年の国際的視野の養成(講演会50回)
- ・世界を目指す「志」の育成(10校)
- ・高校生の海外授業体験(8校)

世界で渡り合える力を身につけさせる (教育の充実)

- ・未来を拓く「学び」の推進(15校)
- ・グローバル・ハイスクール・プロジェクト推進(5校)
- ・語学指導等を行う外国青年招致(ALT62人)

新 ■ 帰国した奨学生(大学・大学院)へのフォローアップ

900万円

- グローバルな舞台で必要な実践力の養成
- グローバル・キャリアアップ研修
 - 帰国奨学生と県内企業との交流会

グローバル
社会での活躍
を後押し

■ 世界を視野に入れた高い「志」を持った高校生の育成

3,200万円

- 高校生・教員の短期海外派遣
- 広い視野を育成する講演会
- 英語力を強化する指導改善

高校生海外派遣

340人

うちハーバード等
への派遣40人

新 ■ 問題解決力、コミュニケーション能力などを育成するための高校の授業改革

400万円

- 大学・企業と連携し新たな授業手法(全員参加型協働学習・ICTを活用した授業)を研究・実践

指定校15校

大学

連携による授業改革

企業



世界水準の中小企業育成

一部
新規

◆ 中小企業の 国際化支援

1億2,000万円

成長する地域・分野への参入支援

CHINA

- 上海ビジネスサポートセンターによる支援
- 新** 上海市近郊・山西省での
トップセールス・ビジネスマッチング

ASEAN

- 新** アセアンビジネスサポートデスク(ベトナム・ハノイ)設置
- 新** タイ・ベトナムでのトップセールス・ビジネスマッチング

USA

- 新** 日本・米国中西部会でのトップセールス
- 新** 医療機器分野でのビジネスマッチング

新規

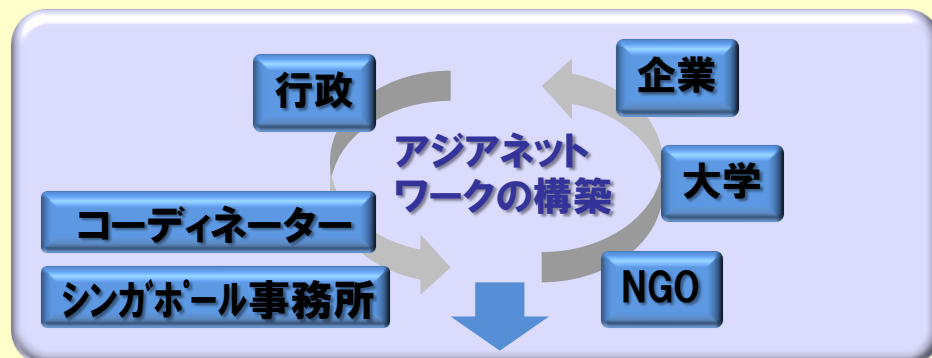
◆ 埼玉・アジア プロジェクトの推進

1,700万円

埼玉・アジアのネットワーク構築

企業、大学、行政、NGOが相互に連携し
ネットワークを構築

- 国際経験豊かな人材をコーディネーターとして配置
- 自治体国際化協会シンガポール事務所に職員を派遣



- 企業・大学等のプロジェクトにフィードバック**



埼玉農業の競争力強化

一部
新規

◆ 埼玉農産物の ブランド化 2,500万円

■全国に通用するブランドづくり



○枝豆（行田在来）（行田市）

鮮度を活かしたブランド化

本県の在来品種を活用
朝採り販売の実施等



（左：土垂 右：丸系八つ頭）

○さといも（深谷市）

食味を活かしたブランド化

本県独自の品種も活用



○ブロッコリー（本庄市）

**作りやすさと機能性を活かした
ブランド化**

スルフォラファン（がん予防
に効果）が含まれていること
などをPR

3年後には首都圏100店舗に出店、
1億円程度を売り上げるブランドへ

新規

◆ 構造改革特区による 6次産業化の推進 800万円

■管理栄養士や中小企業診断士を

農業革新支援専門員として任用

■6次産業化を地域全体の取組として一気に発展

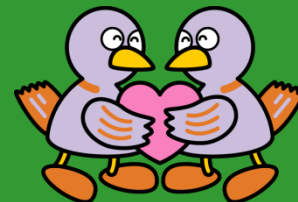
農業革新支援専門員
（特区により2名任用）

個別経営体

- 健康ニーズ、栄養バランスを考慮した新商品開発
- 会社設立、資金調達等の経営支援

商品開発・販路拡大・経営多角化

大規模農家等が
核となった
地域ぐるみの
6次産業化



日本一の共助県づくり

継続 地域支え合いの仕組みの普及・拡大 3,700万円

- 元気な高齢者ボランティアが、援助の必要な方に家事などの手助けを行う

32市町 → 県内全市町村へ 平成28年度まで

継続 高齢者と地域のつながり再生 3億9,600万円

- ひとり暮らし高齢者などの見守り体制づくりや、高齢者の地域活動拠点の整備などに取り組む

新規 シニア世代との連携による新たなビジネスモデルの構築 5,000万円

- 経験豊かなシニア世代のNPO等による、障害者就労施設の工賃アップに向けた支援

▶ 県内の障害者就労施設に新たなビジネスモデルを普及 平成24年度 8施設

一部新規 日本一の防犯共助県づくり 7,200万円

わがまち防犯隊の活動の充実・強化



- 「わがまち防犯隊レベルアップセミナー」の開催
- 活動費補助

23年12月末現在 **5,445** 団体

▶ 活動内容の充実へ

一部新規 NPOによる共助モデル事業への支援 900万円

- NPOがつなぎ役となる、「子育て支援」や「高齢者支援」など共助の仕組みづくりへの助成

継続 学生ボランティアによる生活保護世帯の中学生の学習支援 2億8,700万円

- 特別養護老人ホームに学習教室を開設し、高校進学を支援

参加者目標

H23 : 400人 →
H24 : 600人

みどりと川の再生

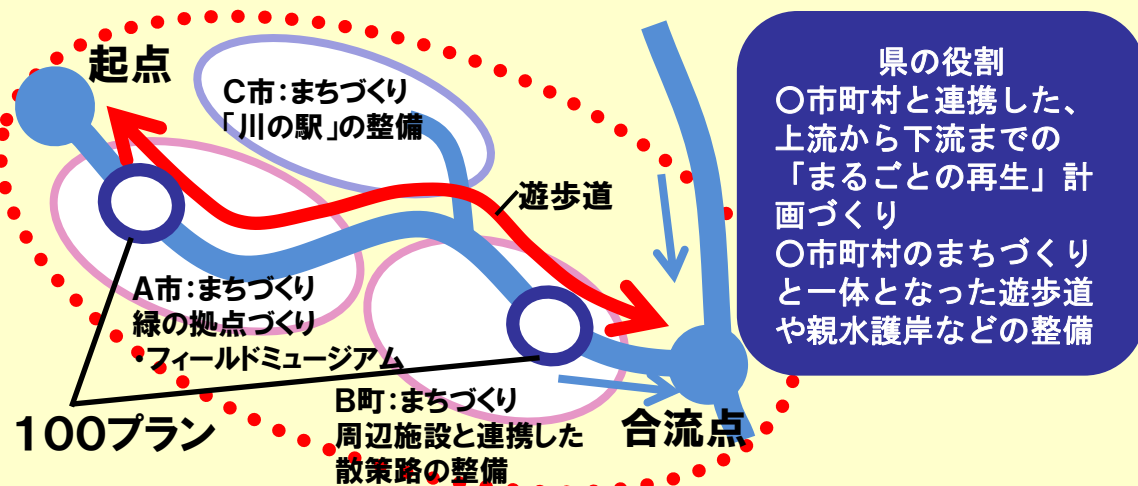


新規 ◆ 川のまるごと再生 プロジェクトの推進

14億7,900万円

一つの市町村若しくは複数市町村を流れる川を
まるごと対象にまちづくりと一体となり、川を再生

- 水辺再生100プランからステップアップ
- 「スポット」から「線や面への広がり」をもった再生へ



再生箇所

黒目川(新座市、朝霞市)など6河川
古川排水路ほか(川越市)など4農業用水

新規 ◆ まちのシンボルロード の整備

1億3,100万円

■3つの機能を併せ持つシンボルロード整備

- 【緑の創出】 街路樹の植樹
- 【環境向上】 連続した緑による木陰の創出
- 【安心安全】 歩行者と自転車の分離

- ・ 駅周辺道路7箇所を実施
- ・ 植樹は「彩の国みどり基金」などを活用

道路利用者に
「ゆとり・安心・潤い」



三大プロジェクトの実現



埼玉エコタウンプロジェクト
埼玉版ウーマノミクスプロジェクト
健康長寿埼玉プロジェクト

新規

◆ 埼玉エコタウンプロジェクトを核とした新エネルギー 埼玉モデルの構築

23億6,600万円



(全県対象)

1 エコタウンプロジェクト推進事業

4,600万円

■ 総合コンサルティング業務

プロジェクトの進行管理や企業参入等のコンサルティング

■ プロジェクト推進支援

事業の具体化のために市町が行う計画策定への助成

平成24年度

4 5 6 7 8 9

決定・公表
対象市町

プロジェクト事業開始

更なる事業展開

市町計画策定

助成・支援

プロジェクト推進支援

総合コンサルティング

2 電力自活住宅等普及促進事業

8億3,300万円

① 電力自活住宅普及促進事業

4kW以上の太陽光発電+LED照明などで 補助単価:10万円
電力100%自活を目指す取組を支援

6,000件

② 創エネ・省エネ住宅普及促進事業

太陽光発電+LED照明などで
創エネ・省エネを進める住宅を支援

補助単価:5万円

4,000件

③ 地域密着型価格低減等モデル事業

一括発注による価格低減モデルを構築

3 創エネ・省エネによる地域づくり支援事業

1億円

エネルギーの自立に向けて取り組む市町村への助成

三大プロジェクトの実現

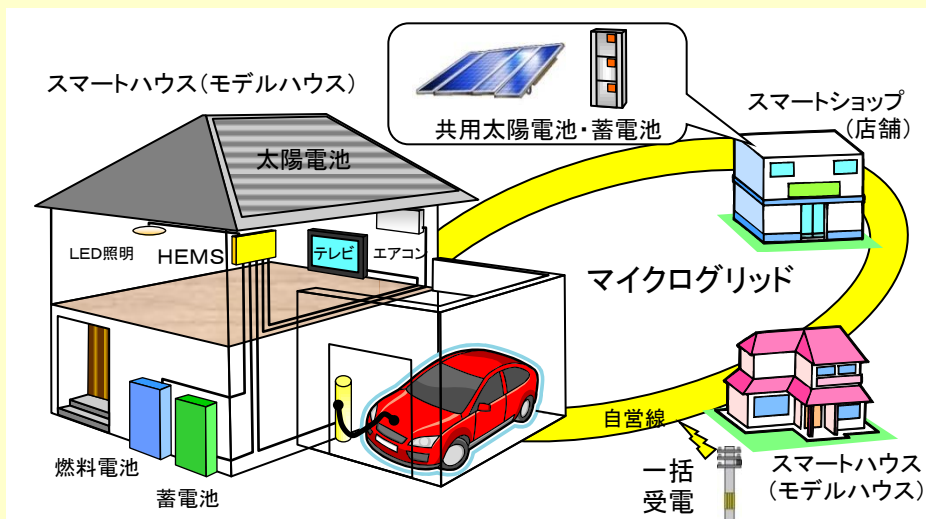


埼玉エコタウンプロジェクト
埼玉版ウーマノミクスプロジェクト
健康長寿埼玉プロジェクト

新規 ④ スマート街区を先導するモデル事業の実施

4,100万円

- 越谷レイクタウン駅南口前で、**越谷市**及び**民間企業と連携**し、スマートハウス(モデルハウス)6棟とスマートショップ(店舗)1棟による**マイクログリッド**を実践・展示
- 最新技術の発表会、県民の体験宿泊・利用を実施



新規 ⑤ エコタウンを支える人材の創出

2,800万円

■ 環境・エネルギー分野の即戦力となる人材を職業訓練により育成するための資器材の整備

- 太陽光発電システム設備の設置・保守 (取付用の模擬屋根の導入)
- 電気自動車と充電設備の運用・保守 (電気自動車・家庭用充電設備等の導入)

高等技術専門校での新カリキュラム	学卒者 及び	330人
民間教育訓練機関等を活用した委託訓練	離転職者向け	50人
企業向け技能講習	中小企業在職者向け	500人

エコタウンを支える人材 年間 **880人** 育成

※ 訓練自体は既存職業訓練費の中で対応

三大プロジェクトの実現



埼玉エコタウンプロジェクト
埼玉版ウーマノミクスプロジェクト
健康長寿埼玉プロジェクト

一部
新規

◆ 埼玉版ウーマノミクスプロジェクトの推進

73億800万円

■ 推進体制を整備する

- 各経済団体に推進組織の設置を働きかけ

■ 女性の活躍の場を創る

- 女性経営者支援資金の創設（融資枠：100億円）
- 女性を対象にした創業相談会の開催
- 女性経営者等を対象にした商品企画研究会の開催

■ 働くための条件を整備する

- 多様な働き方の推進
・ 2,000社を訪問
⇒ 多様な働き方実践企業500社を認定



- キャリアセンターブランチの展開
(所沢市、草加市)

- 認可保育所の整備や延長保育等への支援等
(H24受入枠目標 4,000人)
- 複数事業所による保育所共同設置に対する支援
- 県庁と企業による共同利用型保育所の設置
・ 受入15人、H25.1月職員会館1階にオープン予定

女性の力で埼玉を元気にする



三大プロジェクトの実現



埼玉エコタウンプロジェクト
埼玉版ウーマノミクスプロジェクト
健康長寿埼玉プロジェクト

新規

◆ 健康長寿埼玉プロジェクトの推進

9,300万円

健康長寿埼玉モデル

まるごと健康支援

(健康づくりの仕組み)

- ・医療費分析に基づく健康課題の解決
- ・生活習慣病の予防
- ・団地まるごと介護予防

相乗関係

生きがいづくり

- ・高齢者の就労
- ・地域防犯グループなどの自主グループ支援
- ・地域助け合い、コミュニティ再生

健康長寿モデル都市との共同事業

健康長寿埼玉モデルの都市部への展開

- 健康長寿モデル都市(事業例)
 - ・東松山市
(ウォーキングによる運動能力アップ)
(高齢者が働くコミュニティカフェの開設)
 - ・朝霞市
(団地まるごと閉じこもり・介護予防)
(シニアによる保育支援制度創設と生きがいづくり)
 - ・坂戸市
(食育と運動を中心とした生活習慣病対策)
(ブランド農作物による健康増進と産業振興)
- 1市 1,500万円を助成

アドバイザーの派遣

- モデル都市の円滑な事業推進のため、専門のアドバイザーを派遣

先進的健康管理システムの導入

- ITを活用し、体重や体脂肪などのデータを収集して、保健指導等を行い生活習慣病予防